

市川を調べる

発行 八戸市立市川公民館 市川を調べる会

「先祖から受け継いだものを、私たちの世代で絶やしてはならない。」「我が古里・市川の活性化のためには、まず古里を知ることから始めなければならない。」等、星一郎市川公民館協力会長の熱い思いにより、「市川を調べ、市川を記録し、市川を語り継ぐ会」が11名で発足したのは平成17年3月5日（土）でした。その後は、毎月第4土曜日の午前10時に開催し、名称を「市川を調べる会」に変更致しました。

次に、これまでの話し合いで出た「何を調べたいか」について紹介致します。①「市川」の由来 ②神社仏閣 ③地区内の4小学校1中学校 ④陸奥市川駅の歴史 ⑤願成寺 ⑥安政の津浪 ⑦赤畑の旧東野（大久保）医院 ⑧轟木の鈴木與兵衛氏 ⑨市川地区の先達として、藤田又右衛門氏（開拓）・佐々木〈向谷地〉太郎左右衛門氏（市川日記）・藤沢茂助氏（教育）・林忠蔵氏（教育）・細川重計（教育、産業おこし）の各氏 ⑩石碑、巨木 ⑪集落名の由来・⑫旧市川村役場関係資料 ⑬名字のルーツ ⑭市川の農業や漁業 ⑮伝説、物語 等々です。

市川を調べる会 参加者

- | | | |
|--------|------|-----|
| ・星 一郎 | ・奈 良 | 孝次郎 |
| ・船 木 彦 | ・鈴 木 | 亮 美 |
| ・向谷地 慶 | ・濱 岸 | 定 男 |
| ・田 中 久 | ・根 沢 | 國 雄 |
| ・小 川 真 | ・寺 沢 | 照 勉 |
| ・上 野 子 | ・麦 沢 | 一 男 |
| ・大 川 檀 | ・鈴 木 | |
| | ・木 村 | |



- 「見崎稻荷神社」関係資料（氣田武男氏）
- 「はちのへ町内風土記」（奈良孝次郎氏）
- 「藤田家」資料の一部（藤田 誠氏）
- 「流れる五戸川」「南部八百年」「南部の諸城」市川関係資料コピー（向谷地昇氏）
- 「五戸郷検注進状」原文コピー（〃）
- 「市川関係調査資料」（向谷地昇氏）
- 「直耕の人 細川重計先生」（岩崎竹松氏）
- 「昭和二五 市川村政要覧」（橋 政司氏）
- 「現勢調査 市川村 大正十〃」（〃）
- 「市川日記」天保の凶作（鈴木かづ氏）
- 「市川新田関係資料」含口伝（風穴孝三郎氏）
- 「多賀小学校創立百周年記念誌」（聞き書き多賀の百年）
- 「多賀小学校創立百二十周年記念誌」
- 「轟木小学校創立百周年記念誌」
- 「桔梗野小学校創立五十周年記念誌（コピー）」
- 「市川中学校創立五十周年記念誌（コピー）」
- 「多賀台小学校創立三十周年記念誌」
- 「八戸市立図書館所蔵旧市川村関係資料名」
- 「コピーファイル（六十五点）」
- 「桔梗野小学校同窓会名簿」（鈴木亮氏）



これまでの仕事【1】：市川先達① 細川重計先生（教育、産業おこし）

- ①**先生の略歴** ☆明治37年 和歌山県生れ ☆昭和24年 多賀小学校長 ☆昭和35年 文部大臣賞
- ②**学校教育** ☆県南地方の訓導、校長として勤務し、深い教育理念と情熱に立脚した学校経営は、本県教育の向上振興に寄与するところ極めて大であった。・放送教育指定校として視聴覚教育の理論と実践面の開発・僻地学校教員養成所実習校として後輩を指導 ・農漁村の子どもたちに問題意識を持たせた。・教師の個性や能力を伸ばすことを主眼に、自由な雰囲気の中にも厳しさを保ち、切磋琢磨が行われるよう配慮。
- ③**産業教育** ★最後の勤務校である多賀小学校では寒冷地における野菜栽培の研究にあたり、ビニールによる栽培、特にイチゴの促成栽培に成功、村ぐるみの農業経営の実現をはかり、PTAは勿論のこと市民からも絶大なる信頼を受けた。そして、栄転の話も断って多賀を永住の地を選び、農村青年に夢と希望を与え地域産業の振興に寄与した功績は誠に大なるものがあつた。現在は「市川のイチゴ」として全国的に有名になっているが、その基礎を築いた「細川重計先生」の名前を忘れてはならないと思う。
- ④**社会教育** ☆青年学級青年教室 ・青年教室に産業教育を取り入れ、凶作やヤマセの研究等農業の近代化に取り組むと共に、後継者の育成にもつとめた。 ☆青年団 ・生活作文や戯曲の創作活動を通じて優秀な人材を育成。現在も、先生の教えが脈々と生き続けている。
- ⑤**新生活運動** ☆新しいむらづくり（新しいコミュニティーの創造）の指導に情熱を傾け、多くの実績を上げた。この成果が「あすの地域社会を築く住民活動賞推奨（全国第一位）」として結実。ユニークな新生活運動モデル地区として全国各地から多くの見学者あり。絶賛をあげる。 ☆長年の社会教育活動に対する功績により、「全日本社会教育功労者表彰」を受ける。



「直耕の人 細川重計先生を語る」より抜粋 木村 隆 一

